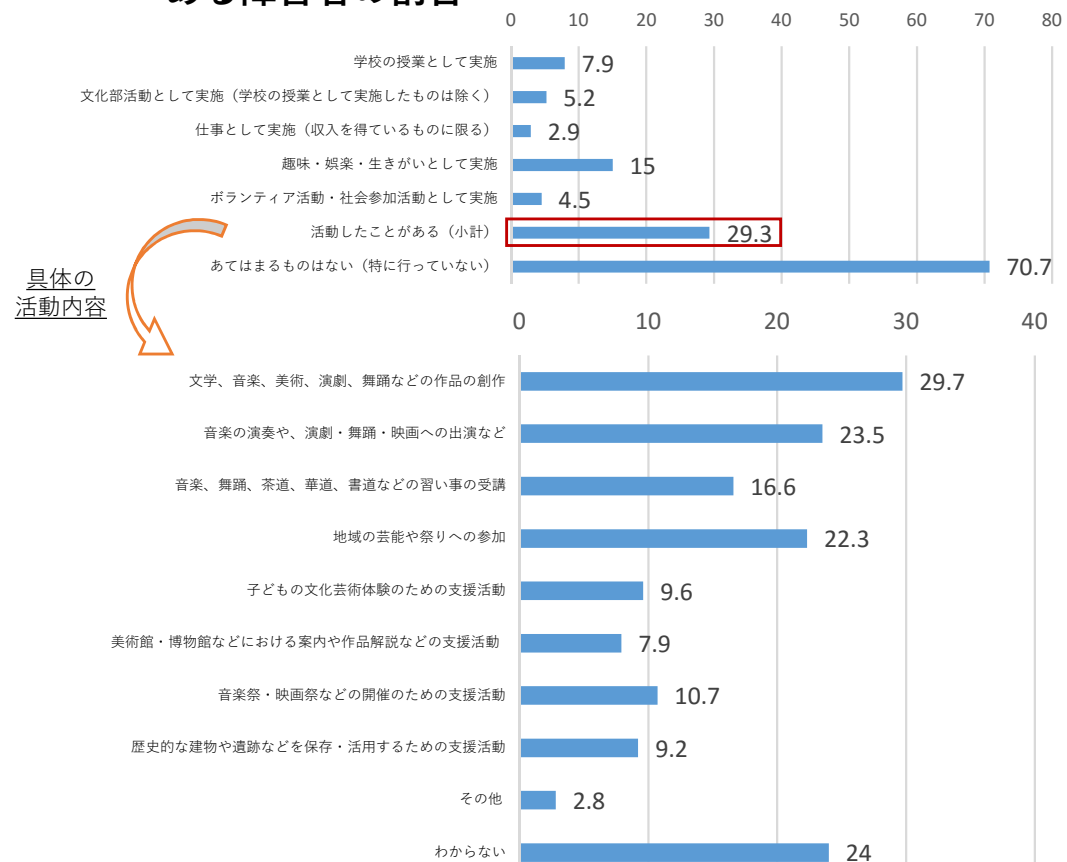
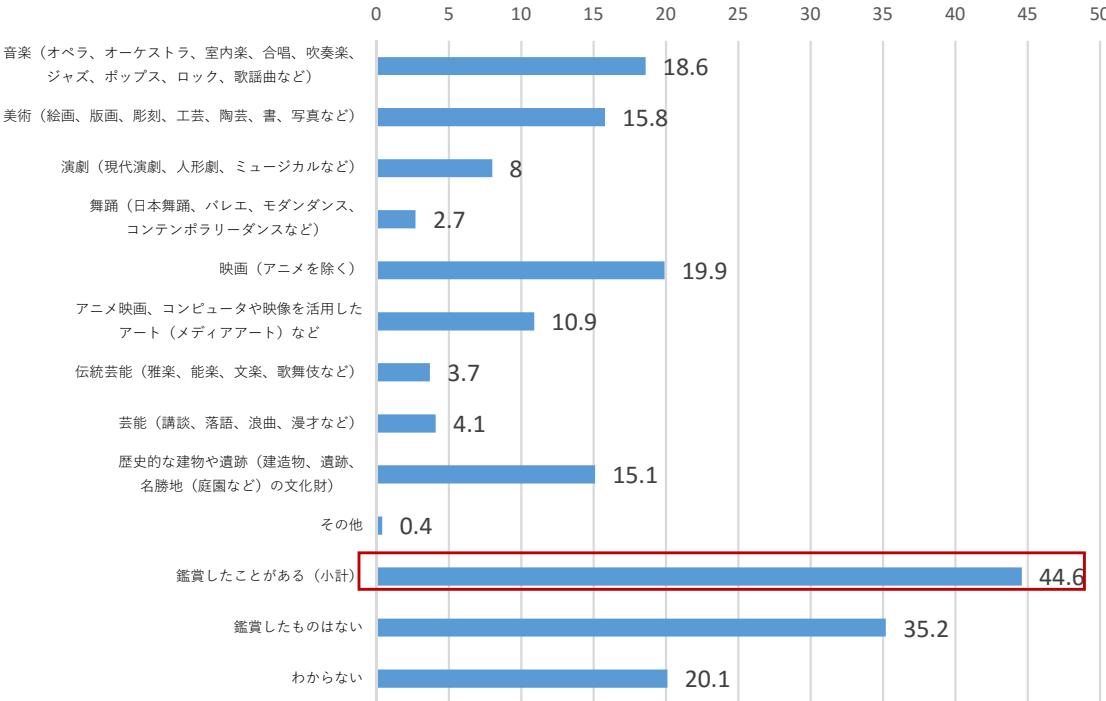


- 直近1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことがある障害者（7歳以上）の割合は、**44.6%**。
- 直近1年間に、鑑賞以外の文化芸術活動をしたことがある障害者（7歳以上）の割合は、**29.3%**
- 成人一般の文化芸術活動の直接鑑賞率は59.2%、文化芸術をしたことがある者の割合は28.1%。

□ 直近1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことがある障害者の割合

□ 直近1年間に、鑑賞以外の文化芸術活動をしたことがある障害者の割合

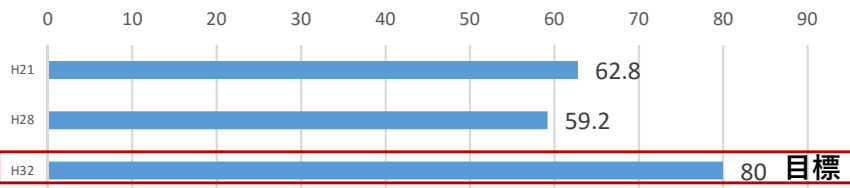


具体的活動内容

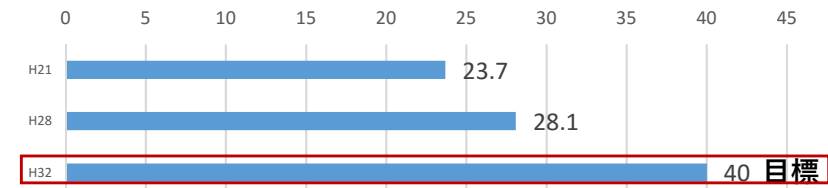
(出典：文化庁「平成29年 障害者の文化芸術の鑑賞活動及び創作活動実態調査」)

（参考）関連データ

□ 直近1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことがある国民の割合



□ 直近1年間に、鑑賞以外の文化芸術活動をしたことがある国民の割合



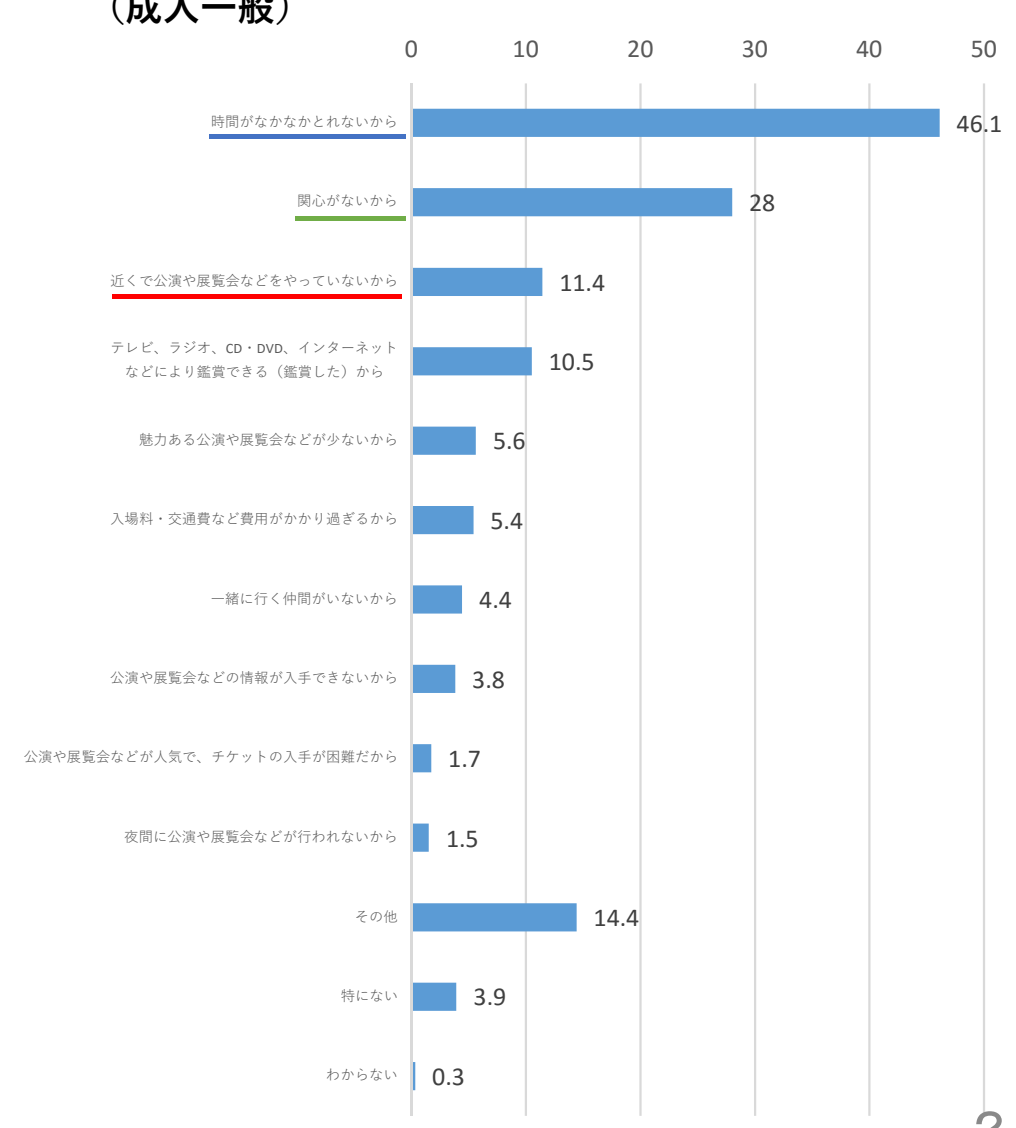
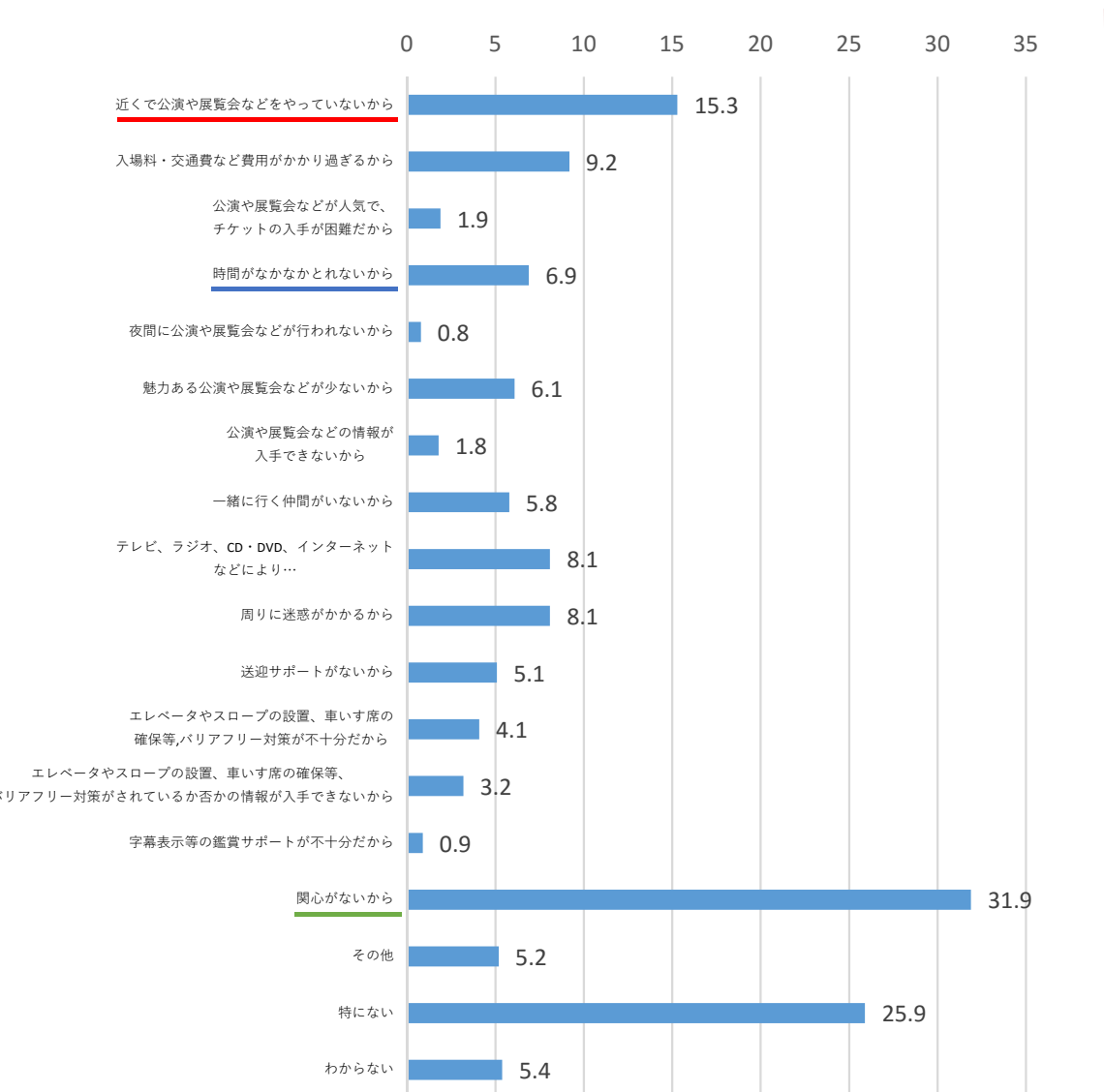
(内閣府「文化に関する世論調査」)

過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった理由(複数回答)

- 障害者が文化芸術活動を直接鑑賞しなかった理由で「関心がないから」と答えた者の割合は31.9%で最も多く、成人一般においても、28%と高い割合となっている。
- 障害者、成人一般ともに、「時間がないから」「近くで公演や展覧会などをやっていないから」を挙げている割合が多い。

直近1年間に、障害者が文化芸術活動を直接鑑賞しなかった理由

直近1年間に、文化芸術活動を直接鑑賞しなかった理由(成人一般)



(出典：文化庁「平成29年 障害者の文化芸術の鑑賞活動及び創作活動実態調査」)

(内閣府「文化に関する世論調査」)

障害者の文化芸術の鑑賞活動及び創作活動実態調査業務の概要

1 調査の目的

全国の障害児・者の文化芸術活動の実施状況やニーズを把握し、今後の障害児・者の文化芸術活動促進に向けた施策の検討のための基礎情報を得ることを目的とする。

2 調査方法

インターネット調査

3 調査地域

全国

4 調査対象者

インターネット会社が保有するリサーチモニターのうち、下記に該当する者を抽出し、調査対象とした。

- ・障害児・者本人あるいは同居する家族が障害児・者であること
- ・障害児がいる場合、7歳以上であること

5 回収結果

予備調査を行い、対象者5,000人から有効回収を得た。

兄弟、姉妹、第2子以降の子どもに障害児・者が複数いる場合、年齢が一番上の者についてのみ回答を依頼した。その結果、回答者本人あるいは同居する家族における障害児・者の人数は6,246人であった。

6 回答者の年齢構成

年齢	%
20～29歳	5.5
30～39歳	17.2
40～49歳	30.4
50～59歳	27.3
60～69歳	14.8
70歳以上	4.8

7 回答者の性別

性別	%
男性	67.0
女性	33.0

8 回答者の居住地域

居住地域	%
北海道地方	5.4
東北地方	5.7
関東地方	35.6
中部地方	17.9
近畿地方	18.5
中国地方	6.6
四国地方	2.7
九州・沖縄地方	7.7

9 調査期間

2017年10月18日(水)から10月23日(月)の6日間